



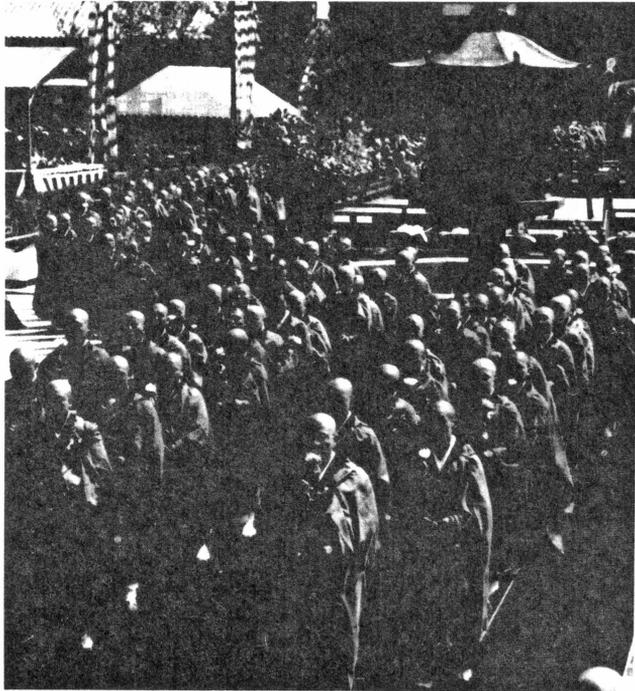
発行所
曹洞宗青年会
〒105 東京都港区芝
2-5-2 曹洞宗宗務庁内
発行責任者 神野哲州
TEL.03-654-54190

青年宗侶のエネルギーを結集しよう
社会的価値ある活動をしよう
我が曹青を促そう
地域における活動の連携を深めよう

千二百年の時をこえて

千僧法要

参加総数一、七〇〇名



カラー印刷提供 北都レスタ一株式会社

千僧法要	1・2・3
四国曹青記念大会・北海道曹青団体加盟、仏教ホスピス	4・5
我が曹青を語る	6
総会資料	7
委員会報告	8

昭和六十三年度

全曹青総会を

奈良で開催

今七期全曹青執行部が六十二年度より事業計画として推進してきた「東大寺千僧法要」が去る四月二十六日開催された。

「大衆教化の接点を求めて」をテーマに進められてきた一大事業であるため、仏法興隆、世界平和を求め各地より一七百名僧侶の参加総数をかぞえた。

新緑の季節となった奈良に、千二百年の時をこえ、また宗派をこえて釈尊のもと、三帰依文を唱え五体投地の様子は天平の時代を彷彿させその姿は真の求道者であり、感動的なものがあった。



四月二十六日、東大寺で千僧法要が行なわれた後、奈良ホテルに於いて昭和六十二年定期総会が開催された。総会では六十二年事業報告書計決算報告をすませた後、六十二年事業計画予算案が執行部より提出され承認された。総会資料、七面に掲載。また今七期全曹青が「大衆教化の接点を求めて」をテーマにしていることから会場を初めて宗務庁より他に移して総会が開催されたのである。

破草鞋

「なら、シルクロード」開催の只中、仏天の御加護が、素晴らしい快晴の下、去る四月二十六日奈良市、東大寺に於いて「千僧法要」が厳粛且つ、壮大なスケールで厳修された。

「中国より奈良に到着した宗教は仏教である。その日本仏教発祥の地で行なわれる儀典に我々仏教団体が無関心であっては仏教は過去の遺物となってしまう。これを機に仏教界の若きリーダー達、現況に満足する事なく、宗派を超え視野を広く持ち互いに協力して参画を……」との曹青会長、神野哲州の呼びかけにこの大法要は企画されたのである。

その熱い呼びかけは、まず地元南都二六会幹部の心を動かし、宗派の山をも超え、各派リーダー達の心に共感を与え、次第にその声は各地へとこだましていったのである。

かくして、二千名にもなるとするその大集団は東大寺をめざし、今桜の花舞う街道を水河のごとく、ゆつくりとしかし力強く、確実に一歩半歩の行進を開始したのである。

活動のエネルギーにかええなければ、この一大法要も唯の鳥合集団の泡沫にすぎない。我々は宗教家ではなく、宗教者でなく五体投地の礼拝も、靈願文の奉読も仏前にて世界平和の願いと誓いのその証しであったはず。

参加した三千人の諸兄よ、一僧一僧が責任をもって「アーモア千僧」として、しっかりと大地を踏みしめて。(目)

東大寺花まつり千僧法要

ご協力の御礼

全国曹洞宗青年会会長 神野 哲州
同 特別事業委員会委員長 西野 正行

去る四月二十六日に開催いたしました「東大寺千僧法要」は、仏天のご加護をいただき、全国より千七百余名の僧侶にご参加いただきことができました。東大寺におきましても千僧が集うことは三百年ぶりのことですが、規模からは天平の開眼法要を、彷彿させ、仏法興隆を願う青年僧侶の思いを充分に現すことができました。

今後の仏教の流れに歴史的な役割を果たしていくこととします。即ち、伝統的教団の中で青年僧の力を発揮させるものであり、まして協働して社会に對するアピールなどは難しいものと考えていました。しかし仏教団が今日のままでよいとは誰も思っておりません。少なくとも社会的な存在でありたいと現代僧も願っていると思います。社会的な存在になつてこそ活発な活動が生まれ、継承者は育つてくるのです。

青年僧もやればできることをこの法要は示してくれました。宗門の前途をうける僧が多くいます。活動を展開しようではありませんか。次代の宗門を背負うのが青年僧ではありません。現代の宗門を支え発展させるのが青年僧なのです。胸を張つて奈良を行進した多くのご僧侶は宗門宗派を越えさせた仏徳の偉大さを体得されたことと思います。

への運動はスタートとばかりでありません。いまも全曹青は宗門ばかりでなく全仏教団の宗親として活動が期待され、また応えねばならない団体となりました。皆様のままです。ご協力をお願いいたします。ご協力のお礼とさせていただきます。

合掌

一九八八年四月二十六日



四月十六日、決晴の天候にむかえられ、千僧法要が行なわれた。この日の奈良市は気温二十四度、初夏を思わせる気候の中、十時より荒池園地で受付が開始され、全国より、また宗派を超えて参加者が受付をすませた。受付会場内にはおにぎりや、特設のうどん屋さんの添葉がでて各自思い思いに準備が進められた。



十二時、一の鳥居に整列、十二時三十分、山伏のホウ貝、衆人の演奏する樂を合奏に行例が出発、誕生仏をのせたソウツ織典をのせたラダ、稲壳、千僧、導師

「ご連絡と今後の「ならシルクロード博」関係全曹青行事

○千僧法要参加者数の受け付け名簿記載は一四二〇名でしたが、配役者の未記載、詠歌・一般参加のご僧侶等で一七〇〇名以上のご参集をいただくことができました。

○タイムカプセル等の入金がいざいしましたら随時、早めにご送金下さいませようお願いします。

今後の「なら・シルクロード博」関係全曹青行事日程

五月十三日、二十四日 元興寺 花まつり
五月十五日、二十七日 春日野会場 ミニージャル ブッダ シヤカムニの誕生 元興寺「坐・精進料理」
十月一日、十三日

「花まつりウィーク」の基本的な参加事であり、内容につきましては専門の演出家に依頼済みで感動の釈尊誕生劇を春日野会場で開催いたします。

「大衆教化の接点を求めて」という旗印のもと、全国曹洞宗青年会も加勢を放り出して、仏教の故郷と云うべき、奈良の地で、花まつり千僧法要等の活動の場を見出していきたい。

第十八回

九州曹洞宗青年会

宮崎大会

開催「ごあんない」

新緑の候皆様には、益々御健勝の事とお慶び申し上げます。さて、九州曹洞宗青年会におきましては左記の通り第十八回九州曹洞宗青年会宮崎大会を開催する運びとなりました。御多忙とは存じますが、なにとぞ御参加下さいますよう御案内申し上げます。

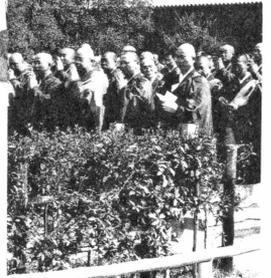
期日 昭和六十二年六月十三日
大会会場 台雲寺 (宮崎北小路三七三三) 電話〇九八二三三三三三

受付 午後一時
開会式 午後一時半
講演 午後一時
中興 禪 老師

総会 午後四時
懇親会 午後六時半
(ロイヤルホテル TEL〇九八三三四二六六)

参加費 一〇〇〇円(懇親会費含む)
会費 五〇〇円
宿泊費 五〇〇円

主催 宮崎県曹洞宗青年会
共催 九州曹洞宗青年会
後援 曹洞宗総本山事務所



とある東大入部へとつながった。
 一時十五分、仏教賛歌と、大鼓に
 誕生仏に敬意をこめて各階層につき法要開
 時至つて、導師灌仏をすませ二層依文
 をとなえ五体投地、それに続き千七百名
 の和合僧が二層依文を唱和して五体投地
 の礼を行なった。
 法要は引き続き、聲願文奉誦となり、仏
 法興隆、世界平和が發願された。
 二時三十分教百羽の鳩がはなされ、実
 に千二百年の時をこえて千七百名の和合
 僧が集つた今世紀最大の仏教盛典に幕を
 閉じた。

随喜中の日常生活は元興寺の日課
 に準じます。
 午前5時半 起床
 午前6時 朝課
 午前11時 準備料理の会
 午後4時 片付け
 午後8時 講習会(研鑽会)
 午後9時 夜間坐枕

仕事の内容
 中食の諸準備
 坐禅の指導
 食事作法の指導
 募集人数
 毎百十人程度
 奈良までの交通費・宿泊費若
 干の謝意を用意しております。
 随喜活動期間
 昭和六十三年十月二日、十月
 二十二日
 最低随喜期間四日以上、希望
 の日時を事務局までお知らせ
 下さい。

典座寮員募集
 この行事に伴う典座寮員
 を募集しております。ふるつ
 てご参加下さい。
 募集期間
 昭和六十三年四月二十六日、
 定員に成り次第締め切ります。

インド仏跡巡拝の旅 '88~'89

- ① 釈尊六大聖地巡拝の旅(8日間).....318,000円より
(昭和63年7月~昭和64年3月 毎週水曜日発) (大阪・東京発着)
- ② 釈尊六大聖地巡拝とタージマハールの旅(12日間).....358,000円より
(昭和63年7月~昭和64年3月 毎週水曜日発) (大阪・東京発着)
- ③ 六大聖地巡拝と仏教美術・ヒマラヤの旅(15日間).....437,000円より
(昭和63年7月~昭和64年3月 毎週水曜日発) (大阪・東京発着)
- ④ 仏陀の生涯を訪ねて(16日間).....438,000円より
(昭和63年10月17日、11月29日、1月30日、3月6日発) (大阪・東京発着)
- ⑤ 南インド(龍樹菩薩)とガンダーラの旅(12日間).....425,000円より
(昭和63年7月~昭和64年3月 毎週水曜日発) (大阪・東京発着)

●同好の目的をもった仲間あるいは教区単位のオリジナルな仏跡巡拝の旅のお広いを致
 します。先ずお問い合わせ下さい。

アショカツアーズ スペシャル

- ① アンコールワットの旅(10日間).....468,000円より
11月16日出発 (大阪発着)
- ② 中国古代文物の宝庫 法門寺を訪ねて(10日間).....348,000円より
8月20日出発 (大阪発着)
- ③ 中国古代文化とシルクロードの旅(13日間).....385,000円より
9月12日出発 (大阪発着)
- ④ 秘境ブータン・シッキムとダーズリンの旅(15日間).....498,000円より
8月17日出発 (大阪発着)

アショカツアーズ
 株 ビーエス観光

〒530 大阪市北区中之島3-116-32
 TEL 06-444-2221 代
 店舗 桜橋(東区347) 机舎 山下(東区)

第五回四国地区曹青会松山大会開催

記念『禅をきく会』

四国地区曹青会

会長 大場 良 憲



禅をきく会

南海放送学苑 特別講座

暖冬の松山会場にて

第五回四国地区曹青会記念大会「禅をきく会」が、暖冬の四国路愛媛松山にて二月十五日、南海放送学苑とタイアップして、松山市総合コミュニティセンター・キャメリアホールで開催された。講師には、無着成恭老師をお迎えし「今、教育を考えるとどういふことか」とをテーマに講演を頂き、ついで、愛媛新居浜市、瑞應寺住職、橋崎一光老師により、椅子坐禅の実践と「自己をならす」というテーマのもと講演を頂いた。会場の松山市総合コミュニティセンター、キャメリアホールは、収容人員千名の大会場であったが、聴講者数七八〇名と大盛況であった。

四国地区曹青会が発足して、五年目を迎えることが出来、これを記念して何か催しをし「禅」を広く社会にアピールしようということになりました。それで、今日、宗務庁主催で、東京、大阪、仙台、札幌、名古屋、福岡等で開催されている「禅をきく会」を当、四国松山で開催しようということになりました。御蔭さまで南海放送学苑の難い御縁を頂き、又四国管区曹青会々務所、愛媛県曹洞宗宗務所寺院、各御寺院等々諸宿各位の御法助を賜わりまして、二月十五日「禅をきく会」を開催致しました。

何分、開催するまでは、当四国は八十八ヶ所のお大師さまの基柄で、真言宗寺院が多く、それに反し、曹洞宗寺院は二百ヶ所寺位であり、どれ位の人に御聴講頂けるものか、実際のところ不安でした。それが、開始時間二十分前から続々とどしどし収容人員千名の会場は、ほとんど満席に近い聴講者で大盛況を博しました。講演も、無着成恭老師が「今、教育を

考えるとは、どういうことか」という演題で家庭生活に於いて宗教の大切さを説かれ、また、瑞應寺住職、橋崎一光老師が「自己をならす」という演題で説かれ、二時間半の講演時間が、またたく間に過ぎました。聴講者のほとんどの人が、次回も開催して欲しい、次の会場を教えてくださいとの、再々聞いて欲しいという要望が沢山ございました。確かに、今日「二ころの時代」といわれるように多くの人が宗教を求めていること、そして禅に関心を持っていることを実感致しました。

今回のこの催しを一つの土台にして今後、何を見ても開催したいと存じます。最後に、今回「禅をきく会」が無事円成致しましたのも、ひとえに会員一同の積極的な協力と各方面の方々の御支援の御賜もと思っております。今後共、何卒御指導、御協力をお願い致します。



無着成恭老師講演

曹洞宗	218名	63%
他の仏教宗派	118名	34%
キリスト教	3名	1%
その他	7名	2%
性別		
男性	76名	22%
女性	270名	78%
以上		

団体加盟決定

熱きメッセージは 今、青函トンネルを通して

北海道第二宗務所青年会

幹事 押見 正 宏

北海道第二宗務所青年会は今年創立十周年を迎えます。この節目に「全曹青」加入を果たした事は、当青年会にとって新たな飛躍への第一歩として意義深い事であると受けとめています。

当地では遠隔地という事も手伝って、加入への反応は殊の外鈍く「全曹青」に対する関心が薄いと云うのが現状でした。「全曹青」加入の働きかけに、加入のメリットは無い。北海道は北海道の地域性がある。足元をおろきりにして何の「全曹青」ぞとの声を聞かれました。

私は、それらの声を押しとどめて加入を促す程「全曹青」に対して十分な把握も出来て、ませんでした。北海道内各曹青間の有和を計り一つの加入への経緯でした。

今度、袖野会長を始め現執行部役員諸師とのつながりが深く、法友からの熱き働きかけによつて、とにかく飛び込んでみようという事になりました。



注文仏像・紫檀製仏具・大木魚・大鑿子

株式会社 宗 像 商 会

本店	東京都東村山市富士見町3丁目2番17号	〒198	TEL (0423)95-8505(代表)
盛岡支店	岩手県盛岡市みたけ5丁目10番48号	〒020-01	TEL (0196)41-3955(代表)
函館支店	北海道函館市亀田町19-18号	〒040	TEL (0138)43-8550
松山支店	愛媛県松山市和泉北1丁目5番20号	〒790	TEL (0899)47-2013

一本手打一枚鑿子好評発売中—
本当の一枚の材料からたたき上げた鑿子です。
溶接品とは音質が違います。
まずはお問合せ下さい。

資 料

全国曹洞宗青年会62年度事業・行事の報告

昭和63年度全国曹洞宗青年会年間計画書

月 日	会議・事業・行事等	月 日	会議・事業・行事等	月	事務局	総合企画委員会	組織委員会
5月18日	全曹青事務局会議(於・宗務庁)	9月10日	事務局会議(東京)	4	総 会	なら博 千僧法要 *	委員会 調査協議
5月19日	61年度事業会計監査会(於・宗務庁)	9月18日	近畿地区宗務所長会議(京都)ならシル クロード博説明	5	理事評議員会 事務局会	23~27 花まつり ウィーク *	委員会 調査協議
	昭和62年度全曹青定時総会(於・東京グランドホテル)	9月26日	東海曹青ソフトボール大会(名古屋)	6	事務局会	委員会 禅文化学林	
	前期禅の集い中央研修会	9月30日	禅を聞く会(静岡第三同同志会)講師 紀 野一義先生	7	事務局会	委員会	
	1. 「いのち」東北管区センター主幹16mm 映画	9月29・30日	北信越地区曹青ソフトボール大会	8	事務局会	委員会	
	2. 「仏弟子誕生」得度式の実際(愛知第三曹)	10月1日	全曹青理事会・事務局会(東京)運営現況・ ならシルクロード博	9	事務局会	委員会	調 査 中間発表2 各地の大会
5月20日	3. 仏教伝道協会見学・講演・花山勝友先生	10月2日	全日仏青代表者会議(東京)	10	各地の大会		
5月30日	曹青通信第50号発行	10月4日	秋田曹青十周年記念大会	11	事務局会		
6月6日	近畿曹青連絡協議会(京都)ならシル クロード博について	10月12日	全日仏青会議(増上寺)	11	事務局会		
6月11日	九州曹青大会(長崎)	10月21日	なら博企画会議(大阪BS・大広二六会)	12	事務局会		
6月15日	全曹青総合企画委員会(於・宗務庁)62年 度事業について文書配布 各曹青に事務 連絡	10月27・28日	中国曹青石見大会(島根・益田市)	1	事務局会	29~4/5 禅文化学林 ネパール・タイ	調 査 発表 今後の展望
6月17日	北海道曹青大会	11月5日	中・四国地区曹青ソフトボール大会	2			
6月19日	曹洞宗ボランティア理事会(東京)	11月9日	近畿地区曹青ソフトボール大会	3			
6月22・23日	ならシルクロード博協議(奈良県庁・近畿 曹青)	11月12日	九州地区曹青ソフトボール大会	4			
6月26日	海外協力センター設立総会(東京)	11月14日	千葉曹青二十周年記念大会 因縁会	5			
7月6日	全曹青広報委員会(名古屋)	14日	全日仏青会議(WFBY)	6			
7月10日	全日仏青会議(東京)	1月8日	全曹青事務局会(奈良青葉茶屋)	7			
7月28日	全曹青組織委員会(京都)	1月9日	全曹青特別事業委員会 なら博準備 事務局会・全日仏青会議(東京)	8			
7月31日	事務局会 ならシルクロード博協議(奈良)	1月25・26日	事務局会・全日仏青会議(東京)	9			
8月20日	事務局会 BS親光と打合せ(名古屋)	2月12日	全曹青理事会・事務局会(宗務庁)	10			
	全曹青監修・曹洞宗のしきたりと作法 発 行される	2月25・26日	四国曹青大会(松山)禅を聞く会	11			
6月29・30日	禅の集い研修会(九州佐賀大会にて)	2月27・28日	鳥取曹青大会	12			
7月・8月	各地曹青禅の集い、サマースクール等開催	2月29日	愛知第二曹青主催授戒会(豊橋)	1			
9月7日	ならシルクロード博協議(元興寺・県庁・ 広告関係)	3月4日	事務局会・全日仏青理事会(奈良青葉茶 屋)	2			
9月9日	全日仏青宗派代表者会議(東京)	3月11日	事務局会	3			
		3月12日	曹青通信53・54号発送	4			
		3月24日	事務局会(名古屋)総会準備	5			
		4月1日	曹青通信55号発行	6			
		4月12日	全曹青特別事業委員会・事務局会(奈良)	7			
				8			
				9			
				10			
				11			
				12			
				1			
				2			
				3			

全国曹洞宗青年会62年度収支決算報告

全国曹洞宗青年会63年度収支予算書

全国曹洞宗青年会62年度歳入 S.62.4.1-63.3.31

科 目	項 目	62年度予算	62年度歳入	増 減	備 考
1. 会 費		1,000,000	622,000	-378,000	
	1. 団体会費	800,000	620,000	-180,000	31団体
	2. 個人会費	20,000	2,000	-18,000	2名
	3. 賛助費	180,000	0	-180,000	
2. 参加費		900,000	609,000	-290,000	
	1. 研修会参加費	500,000	500,000	0	前期禅の集い
	2. 事業参加費	400,000	109,000	-291,000	結子
3. 宗務庁助成金		9,700,000	9,699,888	-102	
4. 出版広告収入		600,000	506,600	-93,400	
	1. 一般収入	100,000	236,600	136,600	仏教伝来
	2. 広告収入	500,000	270,000	-230,000	曹青通信広告代
5. 雑収入		12,853	76,552	63,699	利息 雑業
6. 繰越金		2,187,147	2,187,147	0	昭和61年度繰越金
歳入合計		14,400,000	13,701,197	-688,803	

全国曹洞宗青年会63年度歳入 S.63.4.1-64.3.31

科 目	項 目	63年度予算	62年度予算	増 減	備 考
1. 会 費		1,000,000	1,000,000	0	
	1. 団体会費	840,000	800,000	+40,000	42団体
	2. 個人会費	20,000	20,000	0	
	3. 賛助費	140,000	180,000	-40,000	
2. 参加費		900,000	900,000	0	
	1. 研修会参加費	500,000	500,000	0	前期禅の集い
	2. 事業参加費	400,000	400,000	0	結子
3. 宗務庁助成金		9,700,000	9,700,000	0	宗務庁助成金
4. 出版広告収入		600,000	600,000	0	
	1. 一般収入	100,000	100,000	0	
	2. 広告収入	500,000	500,000	0	曹青通信広告代 利息 その他
5. 雑収入		18,532	12,853	+5,679	利息 その他
6. 繰越金		2,021,468	2,187,147	-165,679	昭和62年度繰越金
歳入合計		14,240,000	14,400,000	-160,000	

全国曹洞宗青年会62年度歳出

全国曹洞宗青年会63年度歳出

科 目	項 目	62年度予算	62年度歳出	増 減	備 考
1. 会 費		1,600,000	2,116,760	516,760	
	1. 総会費	500,000	1,028,100	528,100	5. 19. 20
	2. 理事会費	500,000	492,800	-7,200	5. 19. 11. 6
	3. 評議員会費	600,000	595,860	-4,140	5. 19. 11. 24
2. 本部費		1,100,000	1,058,000	-42,000	
	1. 事務局会議費	300,000	797,690	497,690	6. 18. 2. 15
	2. 事務局運送費	300,000	60,000	-240,000	全日仏青会費61. 62
	3. 事務所消耗品費	150,000	28,000	-121,910	印刷代 その他
	4. 通信費	150,000	17,220	-132,780	宅急便 その他
	5. 印刷資料費	150,000	155,000	5,000	総会資料
	6. 雑費	50,000	0	-50,000	総会資料
3. 総合企画費		800,000	726,320	-73,680	奈良博準備(11. 25)
4. 組織維持費		1,800,000	1,354,465	-445,535	
	1. 委員会運営費	300,000	221,480	-78,520	7. 28
	2. 地方大会講師費	0	0	0	
	3. 地方大会資料費	100,000	0	-100,000	
	4. 地方大会旅費	500,000	228,440	-271,560	九州, 佐賀, 中, 福島, 四, 静岡
	5. 調査費	900,000	904,545	4,545	普通調査
5. 事業費		1,600,000	1,232,788	-367,212	
	1. 委員会運営費	300,000	300,000	0	教化パンフレット
	2. 事業開発費	300,000	300,000	0	
	3. ボランティア費	200,000	0	-200,000	
	4. 事業準備金	400,000	475,070	75,070	奈良博(10. 1理事會令)
	5. 事業開発費	400,000	200,000	-200,000	東海, 九州, 中国, 近畿
6. 研修費		3,300,000	1,267,136	-2,032,864	
	1. 委員会運営費	300,000	0	-300,000	1-9
	2. 研修会開催費	1,100,000	210,000	-890,000	後期禅の集い, 秋田, 鳥取
	3. 地方事業開催費	1,200,000	400,000	-800,000	九州, 福島, 中, 佐賀, 静岡
	4. 研修開発費	700,000	337,136	-362,864	結子製作費
7. 広報費		4,060,000	3,624,260	-435,740	
	1. 委員会運営費	300,000	123,100	-176,900	7. 24
	2. 会報印刷費	1,920,000	1,920,000	0	50 51 52 53 54
	3. 会報発送費	1,600,000	1,391,160	-208,840	同上
	4. 編集経費	150,000	90,000	-60,000	ファックス 原稿料
	5. 雑費	90,000	100,000	10,000	宗務庁広告料
8. 予備費		140,000	0	-140,000	
歳出合計		14,400,000	14,400,000	-2,720,271	

科 目	項 目	63年度予算	62年度予算	増 減	備 考
1. 会 費		1,600,000	1,600,000	0	
	1. 総会費	500,000	500,000	0	1回開催
	2. 理事会費	500,000	500,000	0	2回開催
	3. 評議員会費	600,000	600,000	0	2回開催
2. 本部費		950,000	1,100,000	150,000	
	1. 事務局会議費	300,000	300,000	0	6回開催
	2. 事務局運送費	300,000	300,000	0	諸経費
	3. 事務所消耗品費	100,000	150,000	50,000	消耗品
	4. 通信費	100,000	150,000	50,000	通信送料
	5. 印刷資料費	100,000	100,000	0	会議資料
	6. 雑費	50,000	50,000	0	結子製作費
3. 総合企画費		2,000,000	800,000	-1,200,000	奈良博会議 諸経費
4. 組織維持費		1,500,000	1,800,000	300,000	
	1. 委員会運営費	200,000	300,000	100,000	会 議
	2. 地方大会講師費	0	0	0	パノコン通信
	3. 地方大会資料費	100,000	100,000	0	15万×8
	4. 地方大会旅費	500,000	500,000	0	奈良博準備金
	5. 調査費	900,000	900,000	0	普通調査経理
5. 事業費		2,300,000	1,600,000	-700,000	
	1. 委員会運営費	200,000	300,000	100,000	会 議
	2. 事業開発費	100,000	300,000	200,000	
	3. ボランティア費	0	200,000	200,000	
	4. 事業準備金	500,000	400,000	-100,000	
	5. 事業開発費	1,500,000	400,000	-1,100,000	奈良博文化学林
6. 研修費		2,000,000	3,300,000	1,300,000	
	1. 委員会運営費	200,000	0	-200,000	会 議
	2. 研修会開催費	500,000	1,100,000	600,000	禅を聞く会 禅の集い
	3. 地方事業開催費	1,200,000	400,000	-800,000	1,200×8
	4. 研修開発費	100,000	700,000	600,000	結子製作費
7. 広報費		3,800,000	4,060,000	260,000	
	1. 委員会運営費	200,000	123,100	-76,900	会 議
	2. 会報印刷費	1,800,000	1,920,000	120,000	6回発行
	3. 会報発送費	1,600,000	1,391,160	-208,840	6回発行
	4. 編集経費	150,000	90,000	-60,000	執筆料
	5. 雑費	50,000	100,000	50,000	
8. 予備費		90,000	140,000	50,000	
歳出合計		14,240,000	14,400,000	160,000	

昭和62年度歳入 13,701,197円
 昭和62年度歳出 11,679,729円
 昭和62年度残金 2,021,468円

昭和63年度歳入 14,240,000円
 昭和63年度歳出 14,240,000円

昭和63年度へ繰越

